



ぼらんていあ通信

9月号
通巻 No.478

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年9月22日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamiva.info/>

今年のほかほかふれあいフェスタは あじさい会館ロビー展示 だけとなります。



場所 あじさい会館1F ロビー
期間 10月10日(日)～10月16日(土)
(16日は16時までです)

障がい者団体や、ボランティアグループなどの活動紹介、また、手話ダンスやよさこい踊り、バンド演奏など、参加予定だったグループの活動を写真などで紹介します。見に来てくださ～い。

もし、
ほかほかふれあいフェスタが
例年通り開催できていたら～

ポスターの構成を
みんなで検討中!



若者サポートステーションの皆さんに作成していただいた今年のポスターを、お見せすることができたのに残念です。

若者サポートステーションの皆さん、来年もよろしくお願いします。



事務局、ぼらんていあ通信やホームページなどの広報活動は、従来通り行っています。
HCC活動と傾聴活動は、条件としてコロナワクチンを2回接種した人(但し、HCC利用者には問わない)に限定して活動しています。
理事会およびDVD制作実行委員会などは、オンライン(Zoomなどを使用)で、開催しています。

緊急事態宣言延長にもなるボランティア協会の対応について

9月11日(土)に行われた理事会もZoomで開催しました。
★本日は、ボラ協理事会としては初めてのZoom開催であったが、コミュニケーションもとれ、相談もできてよかった。(高橋談)



10月の記念日は?

小倉義男

10月10日、マグロの日と缶詰の日です。
マグロの日では、726年に聖武天皇の伴で明石に赴いた山部赤人が、まぐろ漁を称えた歌を詠んだことから。缶詰の日では、1877年に北海道石狩で日本最初の缶詰が作られたことから。何故か両方の記念日でシーチキンができてしまいました(笑) 小倉画



「相模原市社会福祉協議会 新会長笹野氏にインタビュー」
 「組織の「見える化」に力を注いで…」
 「話がお上手で親しみやすいお人柄」



相模原市社会福祉協議会
にこまるくん

9月8日(水)午後2時半からあじさい会館4階の社協事務局で、会長に就任された3カ月余のたつポランティア協会も色々お世話になっている笹野章史さんにインタビューをした。

相模原市上溝生まれ。相模原市役所を昨年11月に定年退職。在職中には相模総合福祉給食施設運営に携わったり、大雪で土砂災害などが起きた時は危機管理課にいたそうだ。最近は大きな災害時に、ポランティアを束ねるという社協が「ニュース」に登場するようになった。

***まずは、新会長の「感想をお聞かせください。」**
 「職責が地域福祉の活性化のために懸命に努力して下さる市民の皆さんにもっと知ってもらいたい。組織の『見える化』を進める必要があると考えています」

***具体的にどのような取り組みをおこなうか。**

「例えば、ポランティアをしている人は、他人に知



とても気さくにお話しして下さる笹野会長。社協さんのロゴマークの前で。

ってもらいたいことを第一の目的としているので、なかなか活動が広がらねることが少ない。しかし、仲間を増やすためには、活動を発信し、見える形にして知ってもらいたいのが大切です。これは、組織にも同じことが言えると思います」

***地域課題についての考えをお聞かせください。**
 「田んこからみんなど支え合っているのが「場」が身近にあるとこです。例えば、その中で住民の困りごとや課題に気づき、解決しようとしている動きが大切です。行政がすべてを解決するのは難しいので、自治会や民生委員や地域の皆さんと協力し、地域で解決しようとしているような「支え合い活動」を展開したい。それを社協の職員として担当が、「コミュニケーションチャルワーカー」、頭文字をとって「CSW」と呼ぶ専門職員です」

地域の「場」は、必ずしも「体操」・「手芸」など集まる目的を以て決めなくてもよく、誰もが自由に参加しやすい雰囲気であれば、隣同士で助け合い感覚が育ちやすいのかもですね。

次にお人柄の一端を知る一助にプライベートについて伺った。

***どんな趣味をお持ちですか。**
 「相模原市内に4つあるホームタウンチームの試合観戦をしたり、グリーンホールや杜のホールで舞台・コンサート鑑賞するのが趣味です。スポーツ

や芸術に直接触れるのが好きで、特に、日本フィッハーモニー交響楽団の定期演奏会には必ず足を運んでいきます」

***自身のスポーツ歴を。**
 「小・中学校時代は野球少年でしたが、高校ではフエニング部に所属し、仲間と共に汗を流しながら、3年時にはキャプテンを務めました。東京都の大会では、団体戦で優勝し、インターハイに出場できたことは思い出し残っています」

***家族構成をお聞かせください。**
 「一人息子が結婚し、今は母と妻と3人で暮らしています」

***会長ならではのメッセージをお聞かせください。**
 「私が会長として力を入れていきたいことは、組織の「見える化」です。社協の様々な取組、その背景にある職員ひとり一人の努力を、皆さんに発信してもらってほしいのです。今回『ほらんていあ通信』を拝読し、あらためて、伝え続けていくことの大切さを実感いたしました。ポランティア協会の皆さんは、市民活動の担い手を増やすべく、ポランティアセミナーや養成講座の共催など、今後連携しながら、共に地域福祉を活性化していきたいと考えています。ぜひ今後もご一緒したいと思います」

熱意あふれる新会長笹野さんは、役所の強いパイプや、多彩な経歴を地域福祉に反映され、職員の働きも、地域住民にとっても、社協さんが今まで以上に「見える」存在になるのは間違いないでしょう！



ボランティア活動グループ訪問記



ほかふれフェスタで、たくみな技を披露
大道芸人 TAKUMIさん

長雨続きで気温も低く肌寒い気候となった9月9日(木)、ほかふれフェスタにも出演いただいている大道芸人たくみなさんを、社会福祉協議会の井上さんにも同席いただき取材をさせていただきました。当日は、たくみなさんのお誕生日だったそうです。ケンタッキーのおごきさんと同日開催です。しかも、9が並び1999年の9月9日にお生まれになったこの日、おめでたい日です。

たくみなさんは、相模原市認定、SAGAMI-HAR AART-SIを取得。この認定とは相模原市の特定の場所で活動できる免許で、審査会を経て取得されたそうです。

*大道芸人になったきっかけを教えてください。

家族みんなが大道芸が好きで、小さい頃からおじやんに連れられて毎週日曜日に横浜へ見に行っていました。見ていると、演じる人に引き込まれ元気になり、人を笑わせるのっていいなあと思いました。最初は100円均一のお店でボールを買って、ユーチューブを見たところ独学で練習し、出来のよくなるまで練習して、学校を見せたところから入りました。



取材日に、わざわざ持ってきてくださった、クラブと一緒に♪ (あじさい会館ロビーにて)

高校生の時に友達に誘われて、卓球のできる学童のごもセンターに行った時、そこでジャグリングを見せたことが縁で、練習場所としても使わせてもらえるようになりました。また、けやき作業所の鈴木さんに出会い、施設で見せることになり、障がい者が多いということでも構えて行ったら歓迎してもらい、「また来てね」とか握手を求められました。そこから、大道芸人生が始まり、今はサマースクールでも教えています。

*どのような技を披露していらっしゃいますか？

クラブ(ボーリングのピンのようなもの)、ディアボロ(中国コマ)、ボールウォーミングアップ、ローラーボール、ダイスタッキングなどで、ファイヤーショーもします。



TAKUMIさん

でも、ジャグリングがとまかく好きで、好きなパフォーマーを追いかけ、一番前で見、家に帰って練習をし、気がついたら朝だったこともありました。大道芸人として、NHKの「沼」はまっすぐみてみたという番組に出演。

また、全国一芸を極めたスーパー高校生を紹介する「スーパー高校生」では、当時制服を着て出演しました。



NHKにも出演!

*22歳にして大活躍のたくみなさんですが、最初の頃は、先輩に連れて行かれた会場で、音楽をかけパフォーマンスを始めても、全然人が集まってくれなかったそうです。

先輩の方には、すぐに人が集まって来るのに、なぜだろうと考えました。あの頃は、観客の顔が見えていなかったと思います。声の大きさ、しゃべり方の話の間などが大切だなと思います。

また、技術があってもそれだけではダメで、失敗した時などは、面白おかしく、さも演出のように観客と作り上げていきます。

*苦労はありますか？

衣装もメイクもなしで演じるので、準備は簡単ですが、夏は汗をかくので、例えばパラスポールに乗った時に汗が目に入って視界が悪くなるので大変です。

*活動場所を教えてください。

相模原駅前広場、相模大野駅前広場、アリオ橋本橋本の七夕まつり、相模原フェスタ、福祉施設、町田のイベント会場、ごもセンター、他に横浜、東京など各地の催し物など年100回以上参加しています。中でも橋本の七夕まつりが一番好きで、観客も多く、ノリも良いため、観客と演じる方が一緒に楽しむことができます。

地元の人と関わってやるのが楽しいと、キラキラした目で相模原愛を一生懸命に話してくれました。若い人が地元を大事に思ってくれる姿、頼もしく嬉しいですね。去年、今年と中止の残念。

*これから活動について教えてください。

動画で伝えることが良いと思います。自分は映像

次ページに続く

理事の報告



9月11日(土) 理事会(理事のみなさん)

緊急事態宣言によるおじやご会館貸室利用停止のため、初めての試みとしてZoomのオンラインワークショップ会議として開催しました。

1、報告事項

＜広報委員会＞

- ・協会としてのフェイスブックを検討中である。
- ・協会情報の発信のために、ながみはら地域ポータルサイト「ながポ」内の協会ホームページの設置や計画中である。

＜講座検討委員会＞

- ・来年3月19日開催予定の「SDGsとボランティア活動」講座を推進しよう。

＜DVD制作実行委員会＞

- ・サポセン主催の動画講座会に参加し、動画制作にチャレンジし、DVD活動に利用の計画をしよう。

2、審議事項

- (1) 秋のほかはかふれあいフェスタは展示部門を除いて中止となった。11月27日の相模大野での障がい者週間キャンペーンは実施予定である。
- (2) 新春ボウリング大会の開催については、会場側とコロナ感染予防の実際について相談した後、開催の可否を決定する。(来年2月～3月頃予定)

次回理事会 10月9日(土) 10時より

クイズに挑戦



- 近年、気候変動が生活に大きく影響していますね。気候変動に関する基本的な知識を確認する問題です。O×で答えてください。
- ① 地球の平均気温は、今世紀末には最悪で4.8℃の気温上昇が予測されているが、2℃以下の上昇を抑えれば大きな影響はない。
 - ② 東京都ではエネルギー消費量とCO2排出量の約10%が家庭部門だ。
 - ③ 夏の冷房時に部屋に入っている熱の多くは、「窓」から入る。



相模原ボランティア協会 10月の予定

日	時間	内容
3(日)	10:00~	HC委員会
9(土)	10:00~	定例理事会
23(土)	13:00~	事務局委員会
25(月)	13:00~	ぼら通10月号印刷
26(火)	13:00~	ぼら通10月号発行

は得意ではないけれど、ユーチューブなどにアップし、色々な人に見てもらいたいです。全然知らない人とオンラインで繋がり、止まっているようにいるよーと、やってきたことを忘れられないように大事に伝えたいです。

ほかふれフェスタに参加して感じたこと

ほかふれフェスタは好きです。障がいのある人もない人も共に楽しんで、自分を知らしてもらい、楽しんでもらえばいいかな。ほかふれに参加していない道行く人も引っぱるひきかき、ふれ合えればいいですね。

最後に、たぐみさんを見てのシャリングを始めた小ぢなお弟子さんの話を嬉しく聞いてくれました。取材の間中、いつもニコニコ、本気で楽しんで、丁寧に答えてくれたたぐみさん。ご家族の理解と応援を得て頑張っている様子が伝わってきました。一日も早くコロナが終息して、ほかふれフェスタや、他のイベントでたぐみさんの大道芸を楽しみたいですね。ちなみにご本名は、石坂巧さんです。今日は雨の中をありがとうございます。

(小江)

*たぐみさんへのご連絡は、ボランティア協会をお願いします。



2019年障害者週間キャンペーンで♪



みごとなファイヤーショー!

会員のひろは

「会員のひろは」は、「趣味」や「今、気になること」などを自由に語っていただくコーナーです。

ウォーキング101万歩

守屋 和郎



《ウォーキングを始めた動機》

31年前45才の時に冠状動脈のバイパス手術をし、その後3回のステント留置術、71才のときには大動脈瘤が見つかって人工血管に替える等命に直結しかねない病が続きましたが、悪運強く生き残っています。

発病後医師から歩け歩けと言われ、在職中はなかなかできなかったウォーキングを60才退職後本格的に取組み、今でも101万歩を目標にこつこつか続けています。

《NPO法人神奈川県歩け歩け協会例会に参加》

12年程前にはNPO法人神奈川県歩け歩け協会の例会に何度か参加し、スタッフになるための講習も終了しましたが、種々事情によりスタッフにはなりませんでしたが、この例会の一つに帰宅困難者ウォークというのがあり、神奈川県庁から相模原市役所まで32kmを5時間半程で歩いた記憶が残っています(今では無理ですが...)。

《歩く楽しみ》

車を手放し歩き始めて感じたことは、通過する周りの景色が一つ一つ目に入ることです。道端や河原の菜の花やコスモス、あざみはね



桜と菜の花のコラボ (町田市尾根緑道)

も知らない花に季節を感じ、他人の庭の花も楽しめま

す。今までであったお店がなくなったり、新しいお店ができていたりするのも気が付きます。

境川をよく歩きますが、鯉はもとより、アオサギや時にはカワセミなどの鳥が居たります。



カワセミ

また何かの用事で少し遠方に出かけたときは、普段見ない景色を楽しみます。

《コロナ禍の中で》

昨年からのコロナ禍の中でも健康維持のためウォーキングは続けさせてもらっています。

主に境川を上って基地を一周したり、下って古淵まで行ったりと、淵野辺公園を回ってきたりしていますが、極力県境を越えないようにしています。人がいないところではマスクを外すこともありますが、混雑する場所を避けてコロナの感染には十分に気を付けています。

毎日の歩数を記録していますが、私がウォーキングを続けていられるのはこの記録が大きな力となっています。

1日も早くコロナが治まり、自由に歩き回れる日が来ることを祈念しています。

*素敵な写真は守屋さんが撮られたものです。

神奈川県歩け歩け協会

県下にたくさん支部があり、各支部が例会を企画実施しており、月40〜50件の例会があります。(※新型コロナウイルス中は休み)

長引くコロナ禍で、視覚や聴覚などに障がいがある方へのサポートで、気をつけなければいけないことを再確認しましょう。

- ①まずは、自身の消毒をする。
- ②自身がマスク、手指の消毒をしていることを相手に伝える。
- ③サポート後は、自身の消毒をする。相手にも消毒を希望するか確認する。
- ④聴覚に障がいのある方と筆談する際には、ペンは自身のものを使用する。共有する場合は、使用前後に手指の消毒をし、相手にも消毒の要否を確認する。



気温の急変

①は×。世界では、産業革命以降の地球の平均気温の上昇を2°C未満、できれば1.5°C未満とすることが共通目標となっています。地球の平均気温が1.5°C上昇すると、日本のような中緯度帯では気温が3度上昇し、極端な酷暑日が増加することが予測されています。

②は×。東京都のエネルギー消費量の約30%が家庭部門です。

③は○。熱を入れない、逃さないために、「窓」は重要です。夏は、窓にカーテンやすだれをかけて、家の中に入ってくる日差しを減らせば、部屋の温度上昇を抑えられます。





☆ボランティアセンターの“ちょっといい”話 ②

～ 依頼者Mさんのコーディネートを通じて ～

病気を複数抱え、一人で車いす生活を送るMさん（90歳男性）。いつもイライラしていて、当日に依頼内容が変わることも度々で、数人いた活動者も定着しませんでした。Mさんのコーディネーターとしてどう向き合うか悩むこともありましたが、本人の不安感や発言の「背景」を諦めずに考え続けました。その過程で出会えたのが、近所に住むヘルパー資格を持つHさん。Hさんの人柄の良さから協力を依頼した結果、Mさんが心を開いてくれ、ご近所付き合いが始まるほどに。良好な関係のもと、Mさんは、心穏やかな日々を過ごせるようになりました。

しかし、その後Mさんの体力が著しく低下。厳しい状況の中、「Mさんの墓参りの付添いをしてほしい」とHさんから依頼がありました。Mさんの身体に配慮しながら3人で墓参りをすることができました。その数日後、Mさんは静かに旅立っていきました。

活動を通じて、Hさんは、「Mさんの最後の思いが果たせ、そこに立ち会えたことは自分にとっても嬉しいです」と言ってくれました。

その話を聞いたとき、私は「MさんとHさん、両方の願いをかなえることができてよかった」、「Mさんの支援を最後まで諦めなくてよかった」と、コーディネーターとしての喜びを感じました。

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



《今月のイラスト
… 自転車にも
乗れるようになったよ》
山口尚美画

パラリンピックも大いに楽しませてもらうって、「コロナの心配も時折忘れかける事もありましたが、現実はまだまだ大変です。孫たちの学校も2学期がはじまったものの登校日と自宅でのリモート授業が混ざって組まれていて、風食の準備の都合もあって予定を聞いておくのが日常になっていきます。早く平常に戻ることを願っています。3年前の夏に桜の通の「おじやまします」で取材させていただきました、その時頂いた三島柴胡の苗が今年2度目の花を咲かせました。可憐な黄色の花です。うれしいー!

(植)

編集後記

ご寄付をありがとうございました
皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<8月の寄付者>

3名の方からご寄付をいただきました。

<8月の寄付金>

総額 33,600 円でした。

